

平成24年度 箱根町教育方針



↑湯幼共同作品

箱中吹奏学部／
仙小の土器→

【箱根子どもアート展より】

- I 教育の基本方針
 - 1 「豊かな心を育む」箱根人の育成を目指しての目標
教育基本方針
 - 2 総合計画達成のための方策
 - 学校教育課
 - 生涯学習課
- II 平成24年度 教育の重点
- III 資料編

箱根町教育委員会

I 教育の基本方針

1 「豊かな心を育む」箱根人の育成を目指しての目標

総合計画の中で、教育は「次代の育成と豊かな心を育む」という重大な使命を託されている。

教育委員会では、使命達成のため2つの基本方針を柱とし、具体的目標として町民の望ましい将来像を掲げた。

《教育基本方針》

- i 箱根の豊かな自然・歴史・伝統文化など、箱根の風土を大切にした人間教育
- ii 地域を愛し、幅広い国際性と社会性を身につけた人間性豊かな心、温かい箱根人の育成

〈方針達成のための具体的目標〉

*学校教育における児童・生徒像

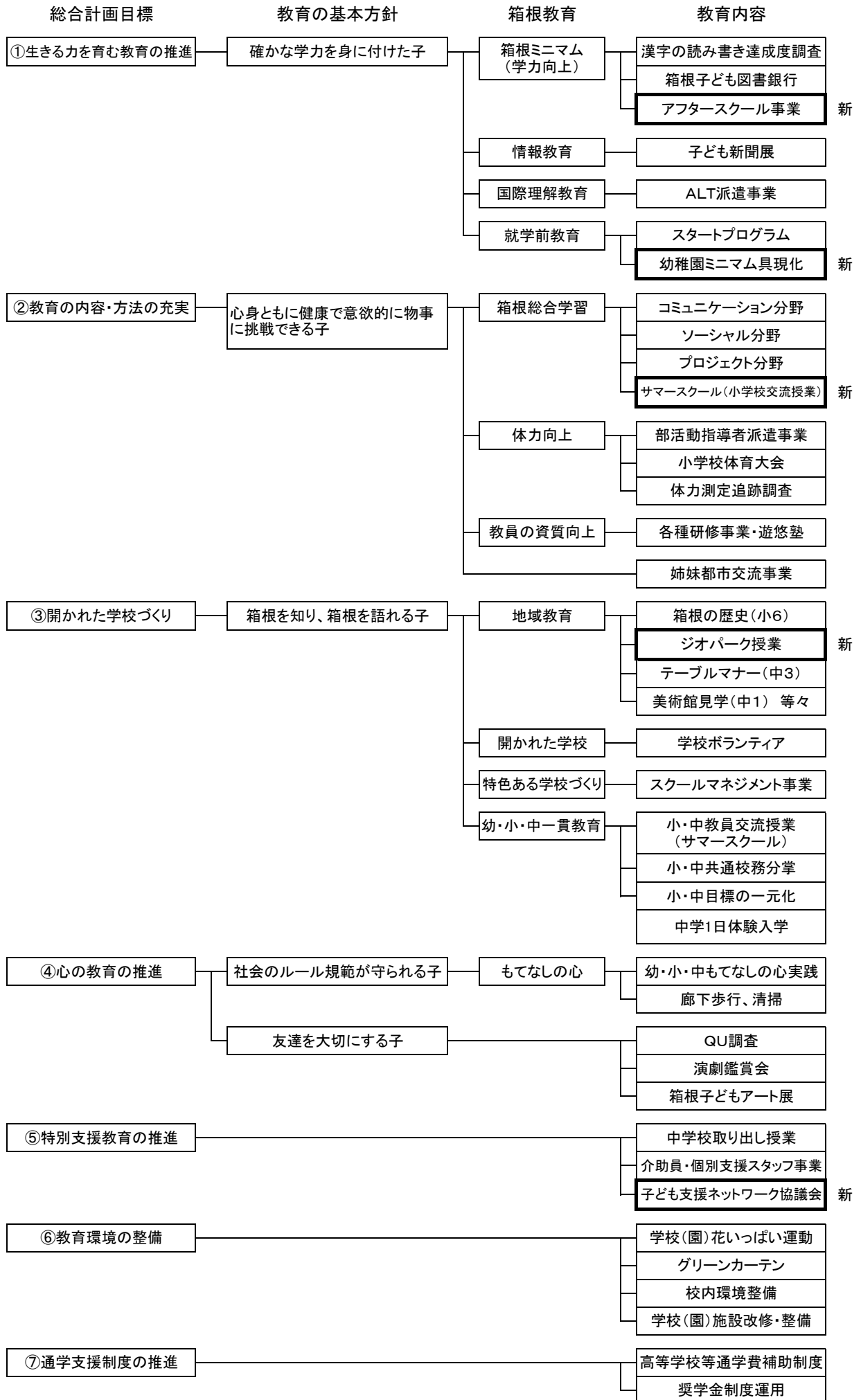
- ① 箱根を知り、箱根を語れる子
- ② 確かな学力を身につけた子
- ③ 社会のルール、規範が守れる子
- ④ 心身ともに健康で意欲的に物事に挑戦できる子
- ⑤ 友だちを大切にする子

*生涯学習における具体的な町民像

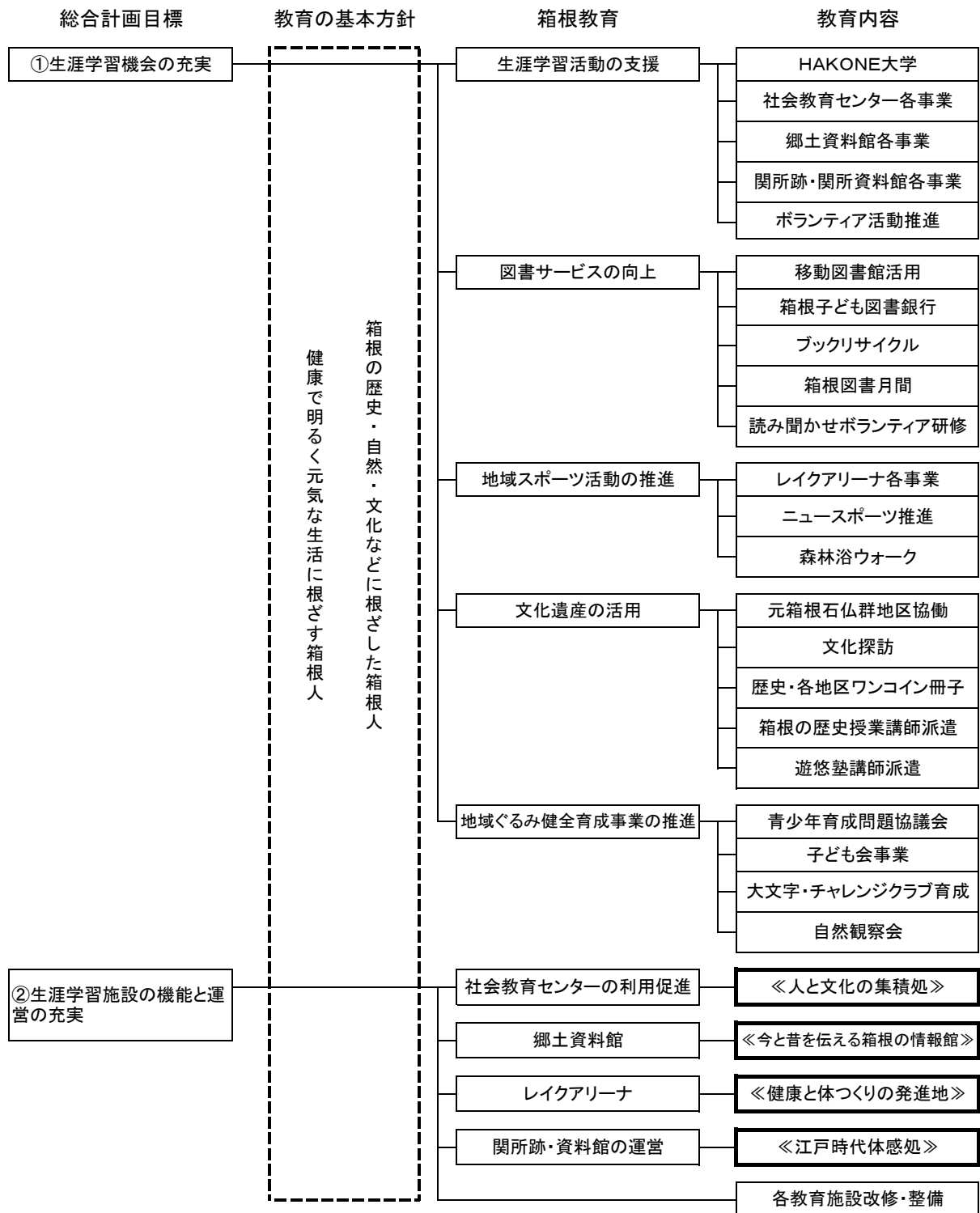
- ① 箱根の歴史・自然・文化に根ざした箱根人
- ② 健康で明るく元気な生活に根ざした箱根人

教育方針を達成するための方策としては、学校教育及び生涯学習において、『箱根教育』を基盤とした教育・学習の実践を図っていく。

2 総合計画達成のための方策【学校教育課】



総合計画達成のための方策【生涯学習課】



Ⅱ 平成24年度 教育の重点

【学校教育課】

1 研究委託

〔幼稚園〕

①コミュニティ幼稚園の在り方・・・教育課程の内容等

〔小・中学校〕

①小・中一貫教育の礎・・・・・・・・総合学習のあり方

②学力向上について・・・・・・・・「全国学力・学習状況調査」の分析

③幼・小連携教育・・・・・・・・落ち着いた生活態度の育成

④読書の指導について・・・・・・・・読書量を増加させるための再工夫

2 各園・小・中学校の具体的な取組み

区 分	1 学力向上に向けての取組みの強化	2 「心の教育」の取組みの強化
幼稚園（保育園）	・読み聞かせ活動の推進	・「おもてなしの心」の日常化 ・聴く態度の育成
湯本小学校	・読書習慣・学習習慣の定着を図る。朝読書・教職時間準備の読み聞かせ活動 ・問題解決学習のための教材の工夫 ・個別サポートの場の工夫	・「おもてなしの心」の日常化 ①清掃活動、給食時間の整然とした姿勢づくり ②あいさつを交わす取組み
箱根の森小学校	・計算を中心とした指導方法の改善 ・家庭学習の習慣化	・あいさつの日常化 ・道徳、学級指導の充実
仙石原小学校	基礎基本の定着を目指して ・朝時間の活用 ・家庭学習の習慣化	・「おもてなしの心」の日常化 ①気づき清掃 ②校内掲示の工夫
箱根中学校	基礎基本の定着 ・朝ドリル学習の実施 ・家庭学習の習慣化	・「おもてなしの心」の日常化 ・道徳教育の充実 ・教育環境の整備 ①清掃の徹底 ②清掃用具の管理
教育委員会事業	・アフタースクール事業 ・教員研修 ・学力調査 ・箱根ミニマム調査	・新聞展 ・子どもアート展

【生涯学習課】

～各施設の具体的な取組み～

区 分	○教育各施設のコンセプト達成のための取組み強化
郷土資料館	・今と昔を伝える情報館
社会教育センター	・人と文化の集積処
レイクアリーナ	・健康と体力づくりの発進地
関所跡・歴史資料館	・江戸時代体感処

Ⅲ 資料編

1 箱根町の教育の総括【資料1】

- (1) 箱根教育の現状と課題
- (2) 小中一貫教育
- (3) 奨学金制度

2 箱根教育の全体像【資料2】

学校教育と生涯学習一覧表〔資料2-1〕

箱根教育 地域教育 必須指導事項一覧〔資料2-2〕

地域教育「箱根ジオパーク」関連必須事項〔資料2-3〕

教員資質向上 研修等事業計画〔資料2-4〕

3 教育支援組織図【資料3】

1 箱根町の教育の総括

(1) 箱根教育の現状と課題

【学校教育】

《現状》

箱根教育については、「地域教育」、「箱根ミニマム」、「心の教育（もてなしの心）」、「情報教育」、「国際理解教育」の5分野で構成されている教育であり、平成19年度当初から各学校において実践している。

「地域教育」については、この5年間で各地域の地域教材が開発され、授業に取り入れられるようになってきた。更には小・中学校一連の共通教材を活用した授業も行われ、児童・生徒の箱根への関心も高くなってきた。例えば、中学生のイベントへのボランティア参加や、中学校3年生の町への提言などから、箱根の中で確実に地域教育が実践されていることが伺える。

地域教育指導資料の加除修正については、実践研究を含めて、箱根町教育制度の研究テーマでもあり、授業実践研究を行いながら修正等を行っている。

「箱根ミニマム」については、基礎学力として漢字の読み書き・計算力について定着度を確かめるため年3回の調査を行っているが、一定の成果は出たものの、それ以上は伸び悩んでいるのが現状である。

また読書であるが、「箱根子ども図書銀行」を中心に実践を図っている。平成19年度以降、読書活動を最重点項目としてきた結果、各学校・園と社会教育センターの連携や学校間の連携が生まれた他、各学校では図書ボランティアの導入が積極的になされ、図書室の改修や図書啓発活動、図書室環境の充実を図る工夫がされてきた。

「心の教育（もてなしの心）」であるが、幼稚園・小学校・中学校において、5項目の実践を行い、幼・小・中の共通教育目標として実践活動をしているところである。

「心の教育」の一環として取り組んできた「落ち着いた生活態度の育成」であるが、平成22年度・平成23年度と清掃活動に力を入れてきたため、取り組みが充実してきた。今後も継続していく方針である。

「箱根町子どもアート展」は、幼稚園・保育園・小学校・中学校の全園児・児童・生徒の作品を展示している。なかなか好評であり定着してきた。今後も「心の教育」の一環として継続していく。

「情報教育」であるが、平成21年度の国庫補助対象事業である「学校等ICT環境整備事業」を受け、児童・生徒の3.6人対し1台のパソコンが配置された。小学校の教育課程の中にも情報教育（パソコンの運用）を位置づけ実践してきた。小学校6年生においては、地域教育との関連性を持たせ、「箱根町小学生新聞展」を開催している。写真を新聞中に取り入れデザインに工夫を凝らすなど、質の高い新聞も作られるようになった。今後も継続していく。

「国際理解教育」であるが、新教育課程において小学校でも英語の授業が位置づけられ

実践されているところである。小・中学校に ALT を配置し、ネイティブによる英語教育を今後とも実践していく。

《課題》

「地域教育」の今後の方向であるが、平成 23 年度には、小田原市及び足柄下郡 3 町がジオパーク認定へ向けての取り組みに着手した。地域の教育においても、地域教育導入依頼、地震や地形・自然・産業などの教材を用いた授業実践を行っている。平成 24 年度からは、「ジオパーク」を冠にし、系統性のある授業を行う必要がある。

「箱根ミニマム」であるが、更なる定着を図るため、児童・生徒が自己学習をしやすい方法の導入を図るとともに、各学校は学力向上のための具体的な取り組みを図っていくことが必要である。

学力向上の大きな要因となるものは、家庭学習の習慣化であるが、習慣化を図るための一方策として補習授業等を実施するなど積極的な取り組みを行っていく必要がある。

最後に「読書活動」であるが、今までの取り組みの中で確実に読書量が増えてきたが、まだ家庭で読書をする環境がない場合も多く、読書量の増加へと結びつかない。今後の大きな目標は「町が図書館、読書の箱根」を目標に、図書月間推進や図書ボランティア研修の充実、図書広報・教育機関の連携などを積極的に行い、家庭での読書の推進を図る必要がある。

【生涯学習】

生涯学習の中の箱根教育の位置づけは、「学習の場の提供」と「学習情報の提供」の大きく 2 点である。

① 「学習の場の提供」

《現状》

学習施設の場として、

- ・郷土資料館
- ・関所跡 及び 関所資料館
- ・元箱根歴史館
- ・社会教育センター
- ・レイクアリーナ箱根 の 5 施設がある。

各施設において、それぞれの取組みを行っている。例えば、郷土資料館では、特別展の他に企画展の実施、また常設展の展示内容を変えるなどの試みを行っている。

関所等関連施設では、内覧会の実施や関所の見どころの冊子作成、児童・生徒の絵画展などを実施し、広報的な取組みを行っている。

社会教育センターでは、生涯学習に関するサークル活動の支援や、講座の開設を行っている。

元箱根歴史館では、昨年度にリニューアルを行い、入場者も増加してきている。

レイクアリーナ箱根については、健康とスポーツ普及のための取組みを行っている。

以上が、現在の取り組みの状況である。

《課題》

各施設のコンセプトは

- | | | |
|---------------|---|---------------|
| ・郷土資料館 | = | 今と昔を伝える箱根の情報館 |
| ・関所跡 及び 関所資料館 | = | 江戸時代体感処 |
| ・元箱根歴史館 | = | 俳句と歴史の星への誘い処 |
| ・社会教育センター | = | 人と文化の集積処 |
| ・レイクアリーナ箱根 | = | 健康と体づくりの発信地 |

としている。今後 10 年先を見据えた形で、このコンセプトに沿った形の施設運営をどのようにしていくかが課題である。箱根町は「観光立町」であることを踏まえ、「集客」・「誘客」を念頭に置き、現状で行っている内容及び施設環境を含めた形で学習施設を再構築して、「ただあるべき施設から、独自性ある施設へ」の転換を図っていく必要性に迫られている。

② 「学習情報の提供」

《現状》

「観光立町」である箱根町は、町民・観光客に「箱根の見どころをどのように情報提供していくのか」という視点が重要になってくる。

それに加え教育の分野では、観光課が担っている視点とは違う「教育の視点」で提供していく必要がある。そのような考えのもとに、今までに「ワンコイン冊子」を作成し販売してきた。また、森林浴ウォークに合わせ「芦ノ湖一周ガイド」、石仏群地域紹介の「石仏群周回ガイド」、関所では「関所の見どころ（建物編）・（歴史編）」、そして仙石原周辺散策のための「仙石原散策コースガイド」を作成した。

情報提供の側面を考えてみると、これらは一方的に情報を与える形の情報提供であるが、「自ら学習をする」という側面からの情報提供の仕方もある。今まで、この形式で情報提供してきたものに「HAKONE 大学」等と「ボランティア活動」の 2 つがある。

「HAKONE 大学」は過去 5 年間実施し、「箱根の歴史」・「文化」・「自然」・「産業」についての講座を開設してきた。ジオパークが動き出したこともあり、その視点での講座開設や健康・食生活等についての学習講座も新たに開設をしていく必要がある。

文化財等の情報提供については、今まで通り「文化探訪」を実施していくとともに、教育内容の中に箱根の文化財を取り入れていくためにも、「教員向けの文化探訪」を実施していくことは、将来を担う子どもたちに箱根を愛する「地域愛」を育てるうえで、もっとも重要な取り組みである。

「ボランティア活動」であるが、現在

- ・郷土資料館の特別展
- ・石仏群整備
- ・仙石原湿原調査

・社会教育センター図書室整備

にボランティア活動の導入を図っているが、箱根町の広報的役割としては、大変大きなものがある。

学習・教育における意義だけでなく、別の視点からすれば、「箱根町の広報」あるいは「行政への理解」とその奥にある役割をも担うものといえる。

《課題》

ワンコインの冊子は、箱根を知る上での大きな情報源になっていることは歪めない事実である。

今後は「宮城野地域」・「湯本地域」・「箱根の歴史」の各ワンコイン冊子を作成し、町民に情報提供していくことが「観光立町」としての教育委員会の一使命と考える。

「ボランティア活動」であるが、先にも述べたように「この箱根を自分たちの手で守り育てる意識の醸成」を図るためには、どうしても必要な活動である。

定着させるためには「募集の方法」そして「どこに、どのような形で」ボランティアを導入するのか、方法を検討すると共に、長期の計画を立て拡充していくことが必要である。

(2) 小・中一貫教育

箱根町における小中一貫教育については、小・中学校の統合を契機に「箱根方式小中一貫教育」を次の6点を実践している。

- ① 箱根教育の小・中学校の系統的指導内容
- ② 小・中学校 重点目標の共通化
- ③ 総合的学習の指導分野共通化
- ④ 小・中学校の校務分掌共通化
- ⑤ 中学校教員の小学校授業への派遣事業（学期1回）
- ⑥ 中学校1日体験及び小学校6年キッズカレッジ

(3) 奨学金制度

奨学金制度は、生徒が安心して進学するために必要な制度であり、制度の永続的な存続のために、従前から教育委員会全課体制で滞納整理に取り組んでいる。

今後も滞納額の減少を図るべく取り組んでいきたい。

返還が計画どおりできない人の場合も、毎月の返還額を減らし、期間を延ばしてでも返還するよう指導し、貸付額を確保するようにしていきたい。

また、貸付時に奨学金制度の内容・趣旨等を説明し、永続的な運用ができるよう貸与者に意識を持ってもらうようにしており、新たな滞納者を発生させないよう努めていく。

平成24年度

箱根教育

箱根教育とは・・・
学校教育・生涯学習の中で行なわれる教育・学習の総称

学校教育

教科・領域

- 1 地域(環境)教育
地域素材を教材とした小・中一環授業の展開
・地域素材活用のための教師用実践書
・6年箱根の歴史授業、中3テーマブルマナー等
・箱根ジオパークに関連した単元づくり
- 2 箱根ミニマム
①すべての学習を成立させる上で必須の基礎的な知識・技能の習得
②重点項目「漢字の読み・書き、読書・読み聞かせ、音読、計算」
・年3回の調査
☆箱根子ども図書銀行
③幼稚園教育ミニマムの推進
④学力向上アフタースクール(中3)

情報教育

- 1 小学校における情報教育年間カリキュラムの作成
②小学校6年:新聞展

国際理解教育

- 1 小・中学校に派遣されるALTと積極的にコミュニケーションを図る授業の展開
・「ようこそ箱根に」

心の教育と体力向上

- 1 学校版「おもてなしの心」宣言
次の5点を行動目標として実践。
温かな心・・・「ようこそ」
親切な心・・・「どうぞ」
労わる心・・・「どうしましたか」
奉仕の心・・・「お手伝いします」
感謝の心・・・「ありがとうございます」
- 2 演劇等鑑賞会(小学校)
- 3 箱根子どもアート展(小・中学校)

生きる力(総合的学習)の具現化

- 1 コミュニケーション分野
- 2 ソーシャル分野
- 3 プロジェクト学習

学校間 絆

- 1 幼・小・中学校の教育内容の連携及び児童・生徒・教員の交流。
- 2 小・中学校の体験入学
- 3 中学校教員の小学校交流授業(※箱根の森小で実施予定)
- 4 教員交流事業の推進

生涯学習

HAKONE大学

<目的>
箱根が有する豊かな自然、歴史・文化、観光事業など、箱根を中心とした専門的学習の場を提供する。
(中心会場・社会教育センター)

<講座概要>
箱根ジオパーク関連
・歴史系講座
・地学系講座
・健康講座
・文学講座

郷土学習

・郷土資料館各種事業
・箱根大学歴史講座
・箱根関所跡
・地域、自然、歴史ガイドブック作成

レイクアリーナ

・体カづくり各種事業
・箱根自然ウォーキング
・サークル活動
・スポーツ振興

公民館

自治学習出張講座

<講座概要>
・教養
・健康
・安全
・自然保護
・福祉
・防災
・観光
・産業 等

ボランティア活動

・郷土資料館
・元箱根石仏・石塔群
・森林浴ウォーク
・図書ボランティア
・学校支援ボランティア

などのイベント等でのボランティア活動の推進

関係所

・バリアフリーへの対応
・内覧会
・歴史ウォーキング
・職員研修

☆箱根子ども図書銀行

<目的>
○小・中学校児童生徒の積極的な読書活動を推進する。
○「箱根子ども図書銀行」を通じ、学校・社会教育センター等の各図書室が連携を図り、誰もが、どこでも本を借りることができるシステムを構築する。

地域との連携

公民館、美術館、博物館、ホテルなど地域の産業と連携した
キャリア教育の推進

学校評価

- 1 スクールマネジメント事業
特色ある学校づくり
- 2 箱根ミニマム推進計画
PDCAサイクルによる有効な手立ての構築
- 3 校舎内外環境美化

教員研修

- 1 職場体験
もてなしの心の醸成
- 2 専門研修
①児童・生徒理解研修
②人権教育研修
③授業づくり研修
- 3 自主研修(箱根遊悠塾)
①私学授業見学
②箱根関所特別公開ガイドツアー
③美術館研修
④郷土資料館説明会
⑤生命の星・地球博物館との連携研修

特色ある学校づくり

箱根教育 地域教育 必須指導事項一覧 ★箱根ジオパーク構想との関連

学年	教科	指導月	単元名	指導時間	指導内容	連携先等
1～2年	生活	1月	箱根子どもかるたをたのしもう	2	○町制50周年記念「箱根子どもかるた」を友達と共に楽しむ、約束やルールを守って遊ぶ楽しさ	○町制50周年記念かるた
3～4年	社会	4月	ごみをなくそう	16	○箱根町のゴミの処理にかかわる対策や事業	○環境センター
		5月	水を大切に	14	○箱根町の人々にとって必要な飲料水を確保するための対策や事業	○浄水場
		6月～	火事からまちを守るには	11	○箱根町における火災から人々の安全を守るための工夫や努力	○消防署
		10月	ふるさとをゆたかに	14	○地域の発展に尽くした先人の働きや苦心	○郷土資料館、学芸員
		1月～	みんなでさがそう昔のくらし	12	○古くから残るくらしにかかわる道具や使っていたころの様子	
5年	社会	9月	日本の水産業 (つくり育てる漁業)	2	○ワカサギの栽培漁業 ※参考教材	○芦之湖漁業協同組合
	理科	10月	★流れる水のはたらき	13	○早川の特徴	○小田原土木事務所
6年	行事	5月	★箱根の歴史ガイドツアー	2	○芦ノ湖のニジマスの放流 ※必：箱根の森小学校 (行事のねらい、実施学年、内容は組合と相談して実施)	○芦之湖漁業協同組合
	社会・総合	随時			○箱根の歴史 ※関所の学習は必須	○箱根町教委生涯学習課
	理科	10月	★土地のつくりと変化	13	○箱根の地層と火山活動による土地の変化 ※配付DVD 活用	○地球博物館
	音楽	12月	詩と音楽を味わおう	2	○「箱根八里」の歌謡と鑑賞	○小田原税務署
	社会	1月	★みんなの願いと政治の働き	2	○税金の役割	○小田原土木事務所
	(総合)				○砂防ダムの働きと防災の仕組み	○ALT
1～6年	外国語活動等	通年	ようこそ箱根に	1～7	○ようこそ箱根に	
中学1年	社会	7～9月	★身近な地域の調査～地形図を使って～	5	○特色ある地形と土地利用の様子(集落の広がりや交通路)、新旧の地区の比較による町の変化	○箱根町都市整備課
	美術	7～9月	美術館へ行こう	2	○芸術家による美術作品のよさや美しさ ※夏季休業中に町内各美術館で学習を深める	○学芸員(彫刻の森、ポーラ、成川美術館等)
	理科	3月	★火山	3	○箱根火山とマグマの性質、箱根火山の成り立ち 造岩鉱物の特徴(箱根火山噴火による火山灰等柄がけしたもの)	○地球博物館、学芸員
3年	行事	5月	森林浴ウォーク	8	○森林浴ウォークボランティア	○箱根町教委生涯学習課
	社会	12月	納税者として、国の財政を考えよう	2	○箱根町の財政状況と中学生への期待について	○講師は、町当局者(町長または副町長)
	家庭	2月	いろいろなる人と楽しむ会食	3	○正式なテーブルマナー ※1、2年次学習内容の発展的内容	○宮ノ下富士屋ホテル
1～3年	総合	通年	キャリア学習 (生き方学習の一部)	1年() 2年() 3年()	○職場訪問、福祉体験(1年) ○職場体験(2年) ○プロジェクト学習(3年)	○町内事業所等

箱根教育 地域教育「箱根ジオパーク」関連必須事項

1 ねらい

- ・箱根ジオパークを通して、地域の自然・歴史・文化についてより理解を深め、地域への愛着や自然保護、安全に暮らせる環境への関心を高める。

2 単元と指導内容

学年	教科	単元名	指導要領との関連	具体的な指導内容
5年	理科	流れる水のはたらき	B生命・地球 (3)流水の働き	○早川の上流・中流・下流の様子や石の大きさ、形の違いと川の流れを関連付けて、流れる水の働きと土地の変化の関係をとらえる。
6年	社会 総合	箱根の歴史ガイドツアー	(1)ア～ケ 指導計画作成上の 配慮事項 1 (1)(2)	○我が国の歴史と関連して、箱根の歴史について文化財や資料館・学芸員等の活用を図りながら理解を深める。 ・江戸時代の箱根関所の学習は必須。 ・源頼朝と湯坂路、箱根八里、ケンペルとバーニー、箱根七湯等。
6年	理科	土地のつくりと変化	B生命・地球 (4)土地のつくりと変化	○箱根の地層を調べ、箱根の土地が火山活動によって変化してきたことをとらえる。 ・配付DVD「奇跡の地球物語」の活用。
6年	社会	みんなの願いと政治の働き	(2)ア	○箱根で過去に起きた土砂災害や早川浸水想定区域等について知り、砂防ダムの働きや防災の仕組み、地域の人々の願いを調べるとともに、そのための費用は租税によってまかなわれていることを理解する。 ・小田原税務署の「租税教室」、小田原土木事務所の「みんなのまちづくり教室」を活用。
中学 1年	社会	身近な地域の調査	地理的分野(2) ・日本の様々な地域 中項目エの ・身近な地域の調査	○箱根町の地形図の読図を通して、地図のきまりを理解する。 地形図を使って、地図記号・方位・距離・等高線などを具体的に読みとる。 ○地形図を活用し、箱根町の各地域の特色を大観する。 *箱根町の地図を利用 ・2万5千分の1 ・3000分の1 ・2500千分の1

<p>中学 1年</p>	<p>理科</p>	<p>火山</p>	<p>第2分野(2) ・大地の成り立ち と変化 項目アの(ア) ・火山活動と火成 岩</p>	<p>○マグマの粘性が、火山の形や噴火の様子と密接な 関係があることをとらえる。 ○箱根火山がもつマグマの粘性から、どのような噴 火の経緯をたどって現在の形になったのかを知 る。 ・油をマグマに見立てた、火山噴火“実験”を通し て、3つのタイプの火山をグループ別につくる。 ①マグマの粘性が低いとなだらかな火山 ②マグマの粘性が強いとお椀を伏せたような火山 ③上記2つの中間的な火山 ○鉱物の観察を通して、鉱物の形状や色、名称をと らえる。 * 県立生命の星・地球博物館学芸員による実験及び 鉱物観察の指導と説明</p>
------------------	-----------	-----------	--	--

平成24年度 研修等事業計画

箱根町教育委員会

事業名	日時・場所	内 容	対 象 者
◆ 基本的な研修等事業			
1 新任・転任教職 員研修会	8月8日(水) 9:00~16:30 郷土資料館学習室	地域学習「箱根の歴史を訪ねて」 講師：郷土資料館長 鈴木 康弘氏 コース別巡見 講師：箱根町教育委員会生涯学習課職員	・小・中学校箱根町新任、 転任教職員 ・参加を希望する教職員
2 児童・生徒指導 研修会	8月22日(水) 14:00~16:30 郷土資料館学習室	具体的な事例をもとにした児童・生徒への対応について 講師：箱根町不登校アドバイザー 鈴木 隆広氏	・中学校生徒指導担当者 ・小学校児童指導担当者 ・幼稚園・保育園担当者 ・参加を希望する教職員
3 特別支援教育 研修会	①10月19日(金) 14:00~16:30 郷土資料館学習室	特別な配慮や対応を要する児童・生徒の支援について ・学習場面で困った時の対応 ・生活場面で困った時の対応 講師：箱根町不登校アドバイザー 鈴木 隆広氏	・個別指導支援スタッフ ・特別支援学級介助者 ・幼稚園・保育園担当者
	②学期1回 半日日程 各小・中学校と日 程調整	箱根町の特別支援教育の現状と課題 ・授業公開、協議等 講師：県立小田原養護学校地域連携部教 諭 ※1学期、就学指導の流れについて確認 を行います。	・小・中学校特別支援学 級担当者
◆ 箱根教育に関連する研修等事業			
4 おもてなしの心 職場体験研修	夏季休業中の2日 間(原則として連 続する2日間)	箱根を訪れる観光客に対する接遇の体験 ・箱根町内観光施設(民間を含む)	・小・中学校の教員 ※H22~25年度の4年間 を1サイクルとする。
5 情報教育研究会	2月12日(火) 15:00~16:30 郷土資料館学習室	情報教育年間カリキュラムの検討と修正 ・各校の実践について情報交換 新聞展実施にかかわる準備について	・各小学校情報教育担当 者
6 授業コーチング 研修	年間を通して実施 教育委員室他	授業の構築・指導方法及び学級経営等の 研究	・指名した教員

◆ 委員会・連絡会議等			
7 箱根町不登校問題等連絡会議 (教育相談コーディネーター研修会を兼ねる)	① 5月25日(金) 15:00~16:30 箱根中、仙石原小	不登校問題等についての現状と課題 講師：箱根町不登校アドバイザー 鈴木 隆広氏	<ul style="list-style-type: none"> ・教育支援室担当者 ・小・中学校教育相談コーディネーター ・スクールカウンセラー ・町巡回相談員 ・SSW ・SSWS
	① 6月1日(金) 15:00~16:30 湯本小、箱根の森小	※講師来町日に各小・中学校で行う。	
8 就学指導委員会	② 2月15日(金) 15:00~16:30 教育支援室	不登校問題等についての情報交換 講師：箱根町不登校アドバイザー 鈴木 隆広氏	<ul style="list-style-type: none"> ・就学指導委員 (オブザーバーとして特別支援学級担当者各校代表)
	① 11月8日(木) ② 1月23日(水) 郷土資料館学習室	適正な就学指導 適正な就学指導	
9 学校支援スタッフ連絡会議	① 5月9日(水) 15:00~16:30 郷土資料館学習室	子ども理解と地域理解 ・支援スタッフの在り方、職務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・介助員 ・個別指導支援スタッフ
	② 3月13日(水) 15:00~16:30 郷土資料館学習室	実践報告会	
10 箱根町食育推進会議	① 6月4日(月) 15:30~17:00 教育委員会	町内の食育推進について情報交換・協議	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭 ・栄養職員
	② 1月7日(月) 13:30~16:30 小田原合同庁舎	食育に係る授業の進め方について ※足柄下郡三町食育推進研究を兼ねる	
	③ 1月17日(木) 15:30~17:00 教育委員会	実践報告による成果の確認 次年度に向けての課題の整理	
◆ 学校において実施する事業			
11 人権教育研修会	各小・中学校と日程、内容調整	各小・中学校で人権教育研修会を開催 ・1回は箱根町教育委員会が講師を派遣 講師：箱根町教育委員会生涯学習課 岩本 満敏氏	<ul style="list-style-type: none"> ・各小・中学校全教職員 ※希望する幼稚園

12 箱根の歴史 生涯学習課講師 派遣事業	各小学校と日程調整	箱根の歴史授業（関所の学習・その他） ・年2回、各校の計画により実施 講師：箱根町教育委員会生涯学習課職員	・小学校6年各クラス ※3回以上の実施も可
13 地域教育授業実践研究		箱根の地域素材を生かした授業実践 ※箱根町教育研究会の中で実践	

<幼稚園関係事業>

事業名	日時・場所	内 容	対 象 者
14 幼稚園・保育園 新規採用職員 研修	4月以降（5回） 郷土資料館学習室他	保育指導の基礎・基本について 講師：町指導主事、各幼稚園・保育園長 等	・新規採用幼稚園教諭・保育園保育士 ・幼稚園・保育園4～9年 経験者の希望者
15 幼稚園・保育園 園長等研修	5月以降（3回） 郷土資料館学習室他	教職員のメンタルヘルスについて 組織マネジメントについて等 講師：カウンセラー 土井 一博氏ほか	・幼稚園長・副園長 ・保育園長・副園長
16 幼稚園・保育園 リーダー養成研 修	5月以降（10回） 今後、日程調整	幼稚園・保育園経営について ・研修会への参加 ・他市町幼稚園体験研修 ・行政体験 ・小学校視察	・指名した幼稚園教諭・保 育園保育士 ※昨年度受講者2年目

<三町教育委員会合同研修等事業>

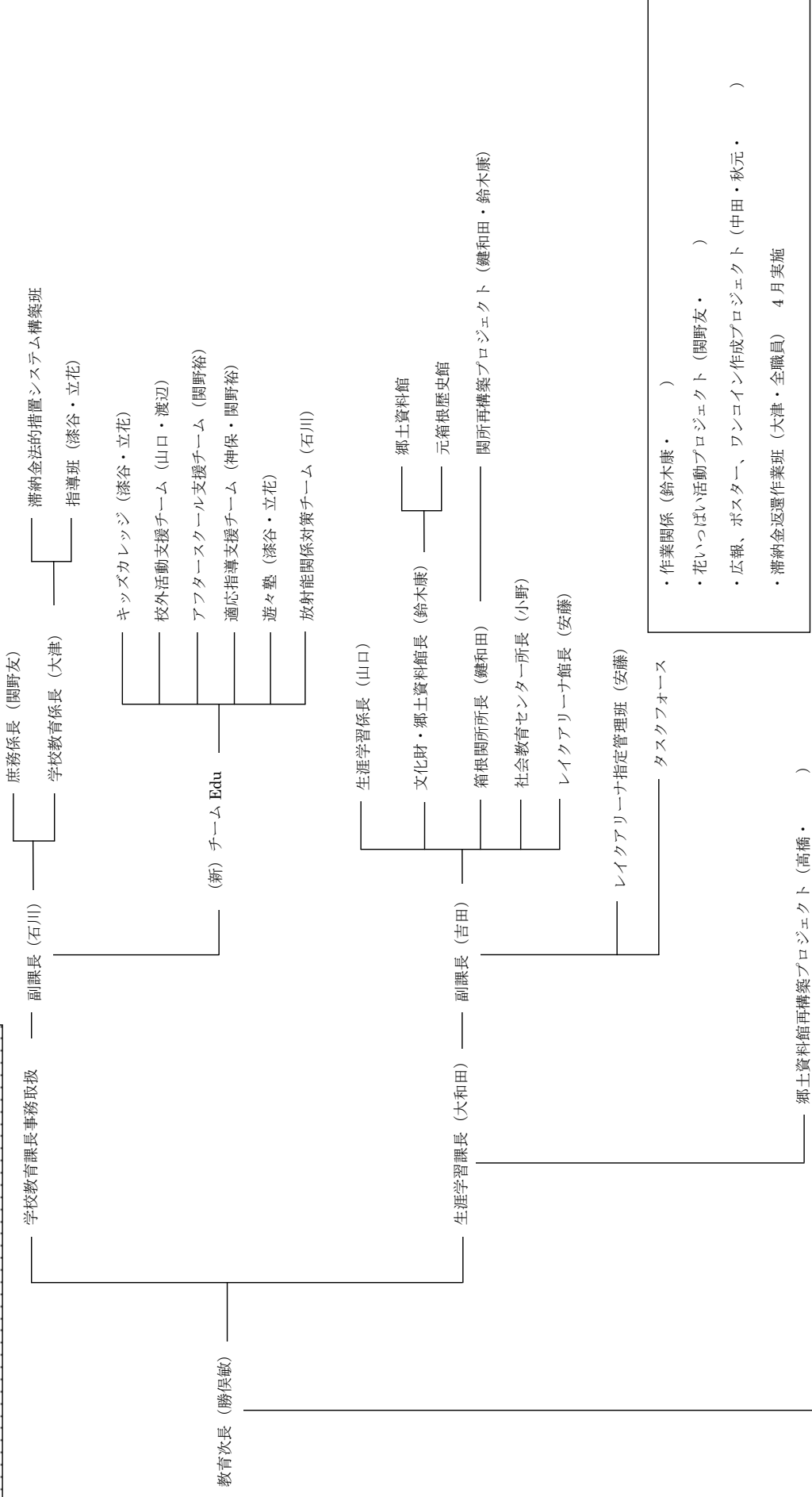
事業名	日時・場所	内容	対象者
17 ファーストキャ リアサポート研 修 ～授業エキスパー トに学ぶ～	①②9月～12月 （小・中各1回） ③④1月～2月 （小・中各1回） 午後日程 授業者の勤務校	授業参観・研究協議 授業参観・研究協議 ※①～④のいずれかに1回以上参加 今後、日程調整	・小・中学校1～4年経験 者
18 授業エキスパー ト養成研修	①6月（未定） 授業者の勤務校 ②9月～12月 午後日程 授業者の勤務校	全体研修Ⅰ ・授業づくりにおける課題について 研究授業 ・各自のテーマ等に基づく授業実践	・小・中学校7年経験者

	③ 9月～12月 午後日程 授業者の勤務校 ④ 2月6日(水) 14:00～16:30 小田原合同庁舎	研究授業参観 ・研究授業の授業分析 全体研修Ⅱ ・研究報告会	
19 今日的課題研究	1月7日(月) 13:30～16:30 小田原合同庁舎	食育に係る授業の進め方について 講師:大学の教授等	・栄養教諭 ・栄養職員

<自主研修>

事業名	日時・場所	内容	対象者
20 箱根遊悠塾	日時未定	①私学授業見学 ②箱根関所特別公開ガイドツアー ③美術館研修 ④郷土資料館説明会 ⑤生命の星・地球博物館との連携研修	・幼・保・小・中学校教職 員の希望者

平成24年度 箱根町教育委員会機動組織図



- ① 管理職打ち合わせ
- ② 給湯室ゴミ (女性当番)
花水やり (男性当番)

- 教育施設整備班 (柳下・佐藤)
- 学校 ICT 整備班 (野坂・大津)
- 学校等借地問題解決班 (石川・吉田)
- 公民館配置検討班 (大和田・小野)